

機械科のQ&A

学ぶ

□普通科目と専門科目の割合はどのくらいですか。

普通科目（56～65%）、専門科目（35～44%）の割合になります。3年生では、進路希望の状況により選択制をとっています。

□どのような内容（専門科目）を学びますか。

○機械設計・機械工作・・・金属材料の種類・性質、様々な工作法や材料に加わる力の種類・現象について学習し、創造的、合理的に設計する能力を高めます。

○機械製図・・・・・・・・・・製図の基礎知識、作図方法や機械部品の設計製図・組立図の制作方法を学習します。CAD製図も学習します。

○原動機・自動車工学・・・原動機や自動車の構造や機能、エネルギーの有効活用、環境に配慮した有効な活用法等の知識と技術を学習します。

○電子機械・情報基礎・・・機械・電気・電子・情報の相互の関連を図りながら、各分野の基礎的な知識や技術を総合的に学習します。

□実習ではどのようなことを学びますか。

・機械加工技術・・・旋盤やフライス盤などの工作機械で金属を削り、図面通りに加工する製作実習。

・溶接・鋳造・鍛造・・・金属の特性を利用した接合・溶解した金属を型に流して成形。金属を加熱して打撃して形を成形する製作実習。

・内燃機関・・・・・・・・・・エンジンの分解・組立および自動車の構造等の実習。

・機械制御・・・・・・・・・・機械を自動的に運転するための基礎的な制御技術法の実習。

・電気・電子・・・・・・・・・・機械も電気で運転されています。そのためには基礎的な電気と電子の知識と技術が必要になります。

・金属材料・・・・・・・・・・金属の機械的性質や金属内部の組織検査、熱処理を学習します。

・流体工学・・・・・・・・・・液体や気体の性質を実験で解明し、自動車・船・飛行機などの運動の原理や仕組みを学習します。

□専門科目の課題(宿題など)にはどのようなものがありますか。

工業技術基礎（1年）、機械実習（2・3年）、課題研究（3年）では、報告書（レポート）を提出しなければなりません。1・2・3年生（課題研究は除く）の報告書は4週間に一通の割合で提出します。製図において宿題とする場合があります。

□男女比はどのようになっていますか。

機械科全学年249名中、1年4名、2年1名、3年1名、合計6名の女子が在籍しています。

□どのような資格が取れますか。

取得できる主な公的資格としてガス溶接技能講習・2級ボイラー技士・技能士3級（普通旋盤・機械系保全作業・機械製図・テクニカルイラストレーション他）・危険物取扱者（乙種）等があります。次の資格は工業高校生を対象とするもので在学中に得た知識や技術を評価します。基礎製図・機械製図・情報技術・計算技術の各検定があります。

進路

□平成23年度卒業生の進路状況はどのようになっていますか。

○平成24年3月卒業生（78人） 単位：人

四年制大学	短期大学	高等専門学校	専門学校等	就職
14	0	0	6	62

□おもな進学先はどこですか。（過去3年間）

○国公立大学（13人）：静岡大学・信州大学・豊橋科学技術大学

○私立大学（43人）：愛知工業大学・静岡理工科大学・大同大学・中部大学・日本大学・東京都市大学・東海大学・愛知工科大学・日本福祉大学・浜松大学・神奈川大学・静岡産業大学 他

□おもな就職先はどこですか。（過去3年間）

トヨタ自動車・デンソー・ヤマハ発動機・アイシン精機・本田技研工業・日東工業・中部電力・クラブ・FDK・スタンレー電気・NTN・プライムアースEVエネルギー・ヤマハビングプロダクツ・浜名湖電装・ユタカ技研・ソミック石川・アーレスティ・エンシュウ・ブリヂストン・コンチネンタルオートモーティブ・グルンドフォスポンプ・スズキ・遠州鉄道・浜松ホトニクス・アスモ・東海旅客鉄道・東海交通機械・金田工業・エフシーシー・日本機械保線・日本たばこ産業・静岡県警・湖西市役所・自衛隊、他浜松地域周辺における輸送機器関連の製造業が主な就職先です。

□どのような職種に就いていますか。

技能職として機械のオペレータやメンテナンス業務・組立等の現場での作業業務、生産管理職や技術職として設計・開発等の業務に従事しています。

□女子の求人数はどれぐらいですか。

男女雇用機会均等法により現在は男女の区別なく「男女不問」です。しかし、男子向き、女子向きの職種はあります。

課外活動

□部活動との両立はできますか。

機械科では、運動部が80%の入部割合になっています。多くの生徒は部活と学習の両立を目指して努力しています。本人の努力次第で克服することはできます。目標を持って頑張ってください。